1 本 小川

柏学園 七夕会



瀬野三施設 中部地区球技大会



柏の実苑 お楽しみ会



瀬野三施設 サマー フェスタ

です。 というものに対し、真剣に考えていかなくてはな格的に検討が始まっています。私たちも居住支援今年度より国では居住支援のあり方について本 らない時期に来ており、 合って取り組んでいこうか試行錯誤している現状 ともなく過ごすことが出来ています。 どのような事から向き

年度をスタートしています。このことはそんな大 とを再度見つめなおして支援を行っていこうと今 と感じています。 とを実感しながらその時間を大切にしていきたいそこに「生きている」時間が流れているというこ 一緒に眺めて「きれいだね」と声をかけ合ったり「楽しさ」をわかち合ったり、景色や季節の花をいながら食べたり、外出や行事等の際には一緒に きなことではなく、 そんな中、 ほんと何気ないことかもしれませんが確かに 瀬野三施設では ごはんを「おいしいね」と笑 「生きる」というこ

れでもその人らしく、心穏やかに過ごせる時間こは少しずつ変わっていくものかもしれません。そ 年を重ねるごとに「生きる」という言葉の意味

発行所 社会福祉法人 学 柏 袁

広島県安芸郡府中町 青崎東7-12 TEL (082) 282-6500

発行人 米川 晃 印刷所

株式会社 中本本店 TEL (082) 221-9181

生きる」を見つめなおし 瀬野柏の 実苑 竹 本

志

と感じる日もあると思います。うまく想いが伝え ように動かない日もあり、 「今」を生きています。 れず、 ます。それでもその日その時の力で精いっぱ が、生きる喜びにつながるのではと思っています。 用者の方たちは毎日過ごしていると体が思う それでもその日その時の力で精いっぱい苛々して人や物に当たることもあると思 作業や学校がしんどい

115

苑、瀬野柏の実苑の利用者は大きく体調を崩すこたちは元気いっぱいに走り回り、また安芸柏の実常気象ともいえる時期でも、瀬野川学園のこども

常気象ともいえる時期でも、瀬野川学園のこどもな暑さはまだまだ残っている状況です。そんな異

今年は

期

で雨も短く、

あっという間に夏を迎え、猛烈 から真夏のような暑さが続き、

見えない部分を大切にしていかなくてはならない生の一部であると日々感じており、その形のないじる瞬間は必ずあります。笑顔や涙、言葉や表現じる瞬間は必ずあります。笑顔や涙、言葉や表現と思います。出来ることが多くなくても、また年と思います。出来ることが多くなくても、また年と思います。出来ることが多くなくても、また年 と考えています。 ます。利用者皆がその人らしくある為には、はなく、「その人らしくあること」だと思っ なことや生きづらさを理解し受け止めていくと共 なく、「その人らしくあること」だと思って 「生きる」ということは命をつなぐことだけで 苦て

支援というものを更に深めていけるよう、今後も を有意義に送れるよう支援を行 ら「生きる」を共に歩む存在でありたいと思います。 で有意義に送れるよう支援を行い、より良い居住2見つめなおし、利用者皆がかけがえのない人生そんな想いを胸に「生きる」ということを今一 私達職員はそのかけがえのない 小さな幸せを共に感じて喜び、 同力を合わせ頑張っていきたいと思います。 時間に寄り添 支え合いなが

幼児発達支援センター

学 柏 袁

(所在地) 安芸郡府中町青崎東 7 - 12TEL (082) 282-6500

感じるようになりました。

主に就学までの子どもたちが通って来てい ます。子どもたち一人一人の気持ちと発達段 階を充分に理解し、ご家族の方々との話し合 いを大切にし、親子共々希望と元気が出る療 育を目指しています。



1)

画

17

廣澤

I

に

触

れ

7

Ā I ... 急速に浸 私はその 透 には し

良い条件ばかり伝えてくる相手に もたちが人工知能 も耳にします。 していくことが大切であると感じました。一 偽は定かではなく、 感じました。情報検索や文章の構成サポート 案され自分にはなかったアイデアがすぐに手に入 言いを含めてくる様子が、 数秒で返ってきました。 りをしてみた所、 た物か実感しようと思い、 やった方がいいと勧めてきまし 合いだったかなと錯覚させられるほどでし 「こうしたい」と伝えると何パターンも構想を提 ChatGPT 「AI」に依存しすぎる人が生まれ始めている話 が選べるのかな…と考えるとや っていきたい部分もありますが、 ました。 その様子をすごいと思うと同時に少し |像を加工して楽し 人と人との関わりをより大切にしたい 家族 A を始 まだ倫理観が備わっていない子ど (は早 自分の思っていた以上の回答が に対峙した時に、 に触れる中で 結局、 速そのツー 体何だろう?と常々感じ ペットの情報を収集した h 敬語の中に時々砕けた物 だりし 最終的には自分で判断 ちょっと前からの アプリを入れてやりと た。まず、どういっ ルの ながら、 Ā はり恐ろしさ 依存しない その 自分に都合 つであ 情報 絶対に 12 怖さも など の真 た。 知り 選

使



障害者生活支援事業

柏 実 苑 **(7)**

(所在地) 安芸郡府中町青崎東 7 - 12TEL (082) 282-6500

つ

う

れし

23才から68才までの知的な発達に障害の ある方達が、社会参加や自己実現を目指して 家庭から通い、職業指導・生活援助を通して 日中活動の場を提供しています。

危

な

前



日 ズ」では主に作業を行う中 中活動グル

1

プの

ド

IJ

動 を通 柏の 実苑

さや

か

良い事にしよう」 円になる事は決めてい そうな事」 からも「もう一回やろう」「すごく楽しかった」と 行う姿を見て取り組み始めると夢中になる方が多 る方が多く最初は消極的な様子でしたが、 て皆さんの れてきました。 余暇活動を充実させることで、 とても白熱した試合となりました。 皆でルー い言葉がたくさん聞かれました。 13 風船バ から立たないように」 を集め、 「好きな事」「やってみたい事」 ルを考える事で自然と主体性が レーを行った際は、 と利用者さん自身が意見を出 卓上ホッケーでは、 どんどん実践しています。 間がある時には余暇活動とし ましたが、やっていく内に 「連続で触るの 伸間と 椅子に座って 初めてさ 終わって 緒に活 職 員 生

していきたいと考えています する事の楽しさを味わえ、 れ かけになるのではないかと思います 楽しく、 からも、 安心し 笑顔が生まれるような活動を提供 て通える環境作りを行 好きな事を見つける な

5

障害児居住施設

瀬野川学園

(所在地) 広島市安芸区上瀬野 南一丁目338-3 TEL (082) 894-8958

残るように日々過ごしていけたらと思います。

17

思い出話が出来、

また、

つの経験として心

学校が始まるときにはみ

んなとたくさん

0

楽

知的な発達に障害のある児童の居住する施 設です。現在5才から16才までの11名が起居 を共にし、基本的生活習慣の自立をめざして います。学齢児は特別支援学校や地域の小中 学校へ通い、18才以上の人達は将来の社会的 自立をめざしています。



の子どもたちは た。 七月二 今年は新し 士 日 夏休みに入り から瀬野 い利用者 川学園 が

れます。 して、 す。 名増え、 安でドキド 嫌だな」 頑 ことばかりを組み込んだのではなく、 夏休みの予定を完成させました。 ル うにかして実現できないか職員で話し合 と」について話し合い、 る生活を送ることができるようにして 血 買 1 談、 ものなどたくさんの意見がでました。 張らないといけないことも入れ、 の進路に向けての作業所見学や進学に向 のように予定をあてはめ、 今年もこども委員会で を 15 子どもたちが見通しを持てるようにカレ 歯科受診、 物楽しみ!」 など山ほどある予定に胸を弾ませたり 緒に作り掲示しています。 キしたりといろいろな表情を見せてく 段とにぎやかな夏休みとな 掃除や宿題の時 p プール 誰と行くの?」 「夏休みにやり か月半という長 でや買 ただ、 『間等の メリ それをみて、 高等部卒業 物、 います。 つちょ やりた つ そ 歯医 けて れをど 食べ ったいこ IJ 7 パ つ 13 0) あ لح



知的障害者居住施設

安芸柏の実苑

(所在地) 広島市安芸区上瀬野 南一丁目338-3 TEL (082) 894-8958

17

0)

知的な発達に障害のある方の生活居住施設 です。現在37才から54才までの男性20名が起 居を共にし、農耕・軽作業・洗濯・清掃など の活動を通して社会参加をめざしています。

ですが、

猛暑の中では

危険行為に繋がる場合が

あります。

この猛暑の中で何ができるだろうかと

頭を悩ませることもありますが、

オーキングやリトミッ

ク、

体操活動

などを取り入

室内でできるウ

熱中症や夏

バテに負けない

体づくりを目

ています。

事です。

強く感じていま

前になり、

「日焼けは火傷」

扱いとなった近 という言葉が当たり

ます。「猛暑」「危険な暑さ」

夏の過ごし方にもアップデートが必要だなと年

私たちは利用者の皆さんの健康を守ることが

「健康のために体を動かすこと」

一は大切

仕

真っ黒に日焼けをしていました。今同じような過

かったため、

毎年皮が剥けるほど

ごし方をしている子どもはほとんどいないと思い



17

過ごすにも関わらず日焼け 日近所の公園やプールで遊んで ました。そして、 私が子どもの頃、 日中外 女休みは 止 め で

ねー ちろんですが、夏らしい創作活 ではの楽しい活動もたくさん実施したいと考えて アを出していきたいです。 いるように、 (作り)、 ます。 そして、 芽が皆さんの手に届いている頃には 以外の夏の楽しい思い出がたくさんできて スイカ割りやかき氷などの食べ物系もも 盆踊りの練習も楽しそうです。 健康維持も大切ですが、 職員一同力を合わせて楽しいアイ 動 やはり夏なら (風鈴やうち 暑かっ この 柏

猛 暑 0 中 でも健康で楽し

安芸柏の実苑

した夏休みにするた

め

瀬野川学園

山手

京 子

知的障害者居住施設

瀬野柏の実苑

(所在地) 広島市安芸区上瀬野 南一丁目338-3 TEL (082) 894-8958

知的な発達に障害のある方の生活居住施設 です。現在38才から91才までの男女39名が 起居を共にし、農耕・軽作業・洗濯・清掃な どの活動をしています。また、年齢を考慮し た体力維持の活動にも努めています。



瀬野柏の実苑 田

新

たな

気持ちで

き、 産休・ この四月から約 育休を取らせていただ 年半ぶり

どこか安心をしました。 変わらない表情やいつもの会話のやり取りをし ていて驚き、 の顔つきがお兄さんらしくなって、 鮮だなあ」 と感じる一方で、 安芸柏の実苑・瀬野柏の実苑では、 復帰をしました。 学園では、 身長も伸び 「なんだか 子ども

通

達

私は出来ているのな くなるような、ひと、 ていた決意ですが、 りに合った充実した日常生活が送れるようにした よう心掛けたい」「個々が尊重し合い、 かにする支援を行なうことで、 り 17 い」と書いていました。 の人にとって、 た作文を見る機会がありました。 休職期間中、 就職するにあたって自分が 声を掛けたり合図をしたりし か、 今でもどれも必要なことで、 になりたい」「可 出来てい これは十数年も前に書 生活の幅が広がる たのだろうかと思 そこには、 一人ひと 能 性を豊 書 13 周 13 た

い毎ん し 供 らも意思を表しやすいよう分かりやすく情 0) ・ます。 日楽しく活き活きした生活を送りたいと思って も、もちろん私自身も、 い気持ちでこれからも精進していきます。 していきます。 生活の中での何でもない会話も大切にし、 「美味しい」「楽しい 今までの経験も踏まえつつ、 「嬉しい 笑顔が絶えないよう、 .] 「嫌だ」 等、 つ、新報を提 こち 日 さ



障害者生活支援事業

安芸柏の実苑通所部

(所在地) 東広島市志和町大字志和 堀字下十日市山337 TEL (0824) 33-5690

知的な発達に障害があり、主にグループ ホームなどで地域生活をしている20名に、 日中活動の場を提供しています。「志和福祉 ランド」(東広島市) において、農耕・軽作業・ 洗濯などの活動を通して、社会参加や自己実 現をめざしています。



軍奮闘する志和の職

利用者を

H

交えながらの話の中に志和での

生城 山 (おうぎやま

安芸柏の実苑通所部 地土井 克水

和で生ま

然の豊かさ、自然の中に小さな発見。尽きない興味。との繰り返し。ても愛オレレイー 間があるのが「志和の里」。瀬野キャンパスの職員と地域と利用者が一体となって過ごすことが出来る空ながらほおばる。笑顔がいい。このように自然と大地、 夏には暑さに負けないで育ったスイカ、 汗する利用者。収穫には利用者の笑顔が一 花の弁当今日は味噌汁がついている」など、同じこ で仕事をされる姿。 ムの皆さんと共に手を取り合い、明日を夢見る今日。 共に歩み、 類を見ながら、 つま芋・椎茸・自然薯と土の中から掘り出した根菜 今まさに人生の年輪を感じる顔がそこにある。 「エイ、エイ」との勇ましい掛け声でのスイカ割り。 ループホームの最高齢者は八十九歳、 毎日に感謝し、 元にはスイカの種。 が食べたい、旅行に行きたい、コーヒーが飲みたい、 指し歩みつづける。 べて仕事に専念する姿、 暑い日も寒い日も誰いうことなく、 中学校・高校と進み、 ζ, 互いを労わる声掛けを続けていきたい 地域との共生社会の実現。地域との交流を 励ましあいながら利用者・グループホー 中学校での出来事など話題には事欠かな 食べる喜びを夢見る収穫祭、楽しみ 地域の皆さんと笑顔で挨拶しなが いつまでも見て 利用者と作業しながら汗を流 秋には収穫した季節野菜・さ 就職先は個々の それが今の ・ます」 た 安芸柏の実苑 「おいしいも 大きな声で 毎日洗濯場 段と綺麗。 道を歩み、 元気で の言え 机を

1 地 域 支 援 事 業

Aさんのクッキング

取りは過去の出来事になりました。 待つのは難しいです」といったやり から待ってください」、「いつまでも まま水をいっぱい流すのを止めない ことはありません。「トイレに入った 生活介護事業所の送迎者を待たせる ける支度を始めます。いつもの順番 で、髪はお母さんがといて結んで虹 一の輪ゴムで飾ります。迎えに来た お母さんの声でAさんは朝の出 「○○さんが来ちゃったよ。」

所に積まれています。 集めた物はリビングの決められた場 捨ておくことができないものです。 からそれを見つけることもあります。 ると瞬時に行動に移します。 床の小さな紙片もAさんにとっては Aさんは興味のあるものに集中す 車の中

さんと仲良しになって洗濯ばさみで 崩されてから家事援助のサービスを も指を切りはしないか、 お母さんからご希望がありました。 洗濯物を干すのにも慣れてきた頃、 両親とは反対に、そうは言われて 1用することにしました。ヘルパー そんなAさんはお母さんが体調を 新しく調理道具を揃えて準備万端 以前はできていたから。」 簡単な調理をさせて欲しいんで 果たして調

ます。 ると台所の中を移動して作業します。 ります。包丁の刃の向きが反対になっ ケ等、きれいにしたテーブルで食 た冷麺やみそ汁、かぼちゃのコロッ ないと聞いていましたが、一緒に作っ いつも買ってきた同じ総菜しか食べ 直します。○○をしてね、と言われ て置いてあるのに気がつくとさっと U

ません。 りです。やってみて楽しいことがし するとAさんは心の中で、『案外面白そうした姿に驚いた私は、もしか たいことに繋がっているのかもしれ 冒頭の生活介護事業所への通所も然 と思ってないかなと想像するのです。 かったな、何だか良い感じ、満足だわ』

ます。 回数を追うごとに増えていると聞 Aさんのクッキングのメニュー は き

たなばた会

たなばた会を行いました

七月七日の七夕の日、 柏学園では、

当日を迎えました。 どりの七夕飾りをつけて、「もうすぐ 七夕だねー」と話しながら過ごし、 数日前から、玄関横に笹の枝を飾 みんなで書いた短冊や、 色とり

され、雰囲気作りもバッチリです。 ジには、お子さんたちが事前に作成 立ち、たなばた会のスタート。 したたなばたのお人形の飾り付け ジには彦星と織姫に変身した職員が みんなでホールに集まり、ステー ステー が

した。 楽しそうな表情で過ごしておられま もありましたが、 いるかなあ?」など、不安な気持ち キドキして泣いてしまうお子さんも で、「みんな見てくれるかなあ?」「ド 次に七夕についての紙芝居をしまし ださっていて、リラックスした表情や お子さんたちは出し物をよく見てく くくるま゛のペープサートをして、 まずはみんなの大好きな゛はたら 今年度最初の全体行事だったの 始まってみると、

柏学園 砂盛 恵理子

ができました。 おられ、星いっぱい んたちはとても意欲的に取り組んで 共同作成しました。 さん星を貼り付けていき、天の川 続 いて、みんなで大きな紙にたく 製作も、 の素敵な天の お子さ Ш

目で見ておられ、 りました。カラフルな傘をまわしな お子さんもいらっしゃいました。 歌ってくれたり、 がらのダンスを、みんなキラキラした あとは、彦星と織姫のダンスが始ま 天の川をバックに写真撮影をした 一緒に踊ってくれる 中には一緒に歌を

とって、よい時間になっていたなら嬉 このたなばた会が、お子さんたちに り しいなあと思いました。 上げて下さり、私たちもとても嬉し お子さんたちの様子を見ながら、 踊ったりして、たなばた会を盛り お子さんたちが楽しそうに歌った 楽しく過ごすことができました。

めるような工夫や配慮をしながら、 いろいろな行事を これからも、お子さんたちが 緒に楽しんでい

たいと思います。

公開 療育を通

柏学園 明日香

ご覧いただきました。 幼稚園・保育園の先生方にご参加い のように過ごしているのかを実際に ただき、お子さん方が療育の場でど 担当させていただきました。当日は、 行われます。私は今回、 が一対一で関わる個別療育の両方が 方が同席され、お子さんと担当職員 各クラスでの集団療育と、ご家族の 行われました。公開療育では例年、 七月二十四日、 柏学園の公開療育 個別療育を

ではありましたが課題へと手を伸ば にしてみました。すると、少しずつ を考えています。今回は、 子さんの表情や動きを観察し、 れながら、遊びや課題へと誘うよう が普段から親しんでいる歌を取り入 てみようかな」と思ってもらえるか に促すのではなく、どうしたら「やっ とを意識しながら実施しました。 いるか」という点を見られているこ 「私たちがどういった関わりをして が送げる姿も見られました。 個別療育の中では、いつも以上に 最終的には自分の力でや お子さん 無理

、ことも多くあります。だからこそ 療育の場 %では、 計画通りにいかな

射的コー がりました。

ナーでは、

ダンボー

ル

で

思います。

活動」となるよう努めて参りたいと

土曜

スーパープレイが飛び出し盛り

思っています。 これからも大切にしていきたいと ら、「この子にとって今、最良の関的でした。その言葉を思い返しなが とが多く、悩むことも少なくありま が必要か」「何を楽しめるか」を見目の前のお子さんにとって「今、何 わりは何か」と考え続ける姿勢を、 教えてもらったことが、とても印象 を求めて考え続けることが大切」と フから「今、分からなくても、答え せん。そんな中、以前に先輩スタッ た点ではまだまだ力不足を感じるこ さが求められます。私自身、そういっ 極めながら、 の前のお子さんにとって「今、 臨機応変に関わる柔軟

す。 り、 あり方を模索していきたいと思いま を大切にしながら、 もなりました。今後もこうした機会 て客観的に見つめなおす機会とな を行うことで、 ても嬉しく感じました。人前で療育 子さんの姿を共有できたことを、と と、そしてご家族の皆様とともにお 0)関わりの一端をご覧いただけたこ 今回の公開療育を通じて、私たち 日々の支援を見直すきっかけに 自分の関わりを改 よりよい療育の め

週末のイベント

数々が並びました。例えば、根気よ 加予定の利用者さんを迎えました。 投げ・射的のコーナーを設けて、 楽しみ会」が行われました。研修室 十六日、「土曜日活動」として、 スイカ、ゼリーカップにカラーセロ く貼り絵をして作った夏の風物詩 で利用者さんたちが創作した作品の 可愛らしい提灯を飾り、魚釣り・ ハンを入れて甲羅を作ったカメ、紙 一:二の会場に、パステルカラー 魚釣りコーナーには、 残暑厳しい夏季休暇明けの 土曜日活動

숧 輪

> ウトをしていただきました。 ナー移動の待ち時間にストラッ

0)

11 狙 作

間 ラスト入り得点表を掲示して、 て一喜一憂しながら輪を投げる中 て楽しみました。 たカニやタコなどです。 コップを折ったり曲げたりして作っ 輪投げコーナーでは、花やミツバ の制限で釣り上げた合計点を競っ ネコの得点の異なるピンを狙っ

> いを定め、 った射的銃に輪ゴムをセットして !!」と歓声が上がりました。 見事的を射ると「すご コー

八月 「お

> 柏 0) 実苑

西

文恵

が各サークルで行われ、週末は「土 となったのではないかと思います。 角田苑長から参加者全員に参加賞の て安心安全で、 アを出し合って、 ツが行われています。 ング、カラオケ、器楽、手話、スポー 曜日活動」として文化創作、 用者さんの心に残る「お楽しみ会」 思いおもいに楽しんでいただき、 お持ち帰りの方と様々で、 お菓子が配られ、お召し上がりの が表彰されました。会の終わりには て、集計・表彰式となり、各コーナー 名ずつと、総合優勝一名の計四名 楽しい時はアッと言う間に 柏の実苑では、平日は主に「作業 より楽しい 利用者さんにとっ 今後もアイデ 最後まで クッキ 過 利 方 ぎ

0

種類別のイ

一分

尾道での中部地区親善球技大会

瀬野柏の実苑 山野 大

会年度の中部地区親善庁事り実行 いましたが、体育館の改修工 をで使用できないために会場を尾道 をで使用できないために会場を尾道 が「クびんご」で開催されました。 に移しての開催となったのです。 に移しての開催となったのです。 に移しての開催となったのです。 に移しての開催となったのです。 に移しての開催となったのです。 に移しての開催となったのです。

本は長年中部地区親善行事の実行 を受けて、いろいろな意見を出し合 ということもあり、打ち合わせの段 ということもあり、打ち合わせの段 を受けて、いろいろな意見を出し合 を受けて、いろいろな意見を出し合 を受けて、いろいろな意見を出し合 をのに楽しんでいただけるように準 はを進めていきました。

た。

「会回はグラウンドゴルフの係とい
を加る皆さんが遠方から集ってこら
が、当日は晴れて、各施設から参加
が、当日は晴れて、各施設から参加

各競技の開始です。開会式も終わり、各会場へ移動後、

ンドゴルフ、それぞれ個人戦や団体卓球、多目的グラウンドではグラウスクとボッチャ、サブアリーナではメインアリーナでフライングディ

わかります。というでは、これでは、これでであるだりと笑顔もたくにはみんなで喜んだりと笑顔もたく大きな声で声援したり、いいプレインをはいました。周りで見ている人たちも戦で皆さん張り切ってプレイされて

ができないプレーヤーに「がんばができないプレーヤーに「がんばができないプレーヤーに「がんばができないプレーヤーに「がんばができないプレーヤーに「がんばがるなど皆さん一生懸命に。

ができました。 中には暑さのあまり、休憩される 事故もなく何とか競技を終えること すさいらっしゃいましたが、すぐに 中には暑さのあまり、休憩される

ばと思います。
おるとのことで楽しんでいただけれれるとのことで楽しんでいただけれれるとのことで楽しんでいただけれが日本のではがいるようで、十月四日に開催されるとのことで楽しんでいただがれている。

ですので参加される皆さんお楽しみのですので参加される皆さんお楽しみ合同運動会が同じく『こざかなくんまた、十月九日には中部地区親善また、十月九日には中部地区親善

ら好きな味を選ぶことができまし

た。どれもおいしかったようでお

サマーフェスタ二〇二五

安芸柏の

の実苑

田中

絵を描いたりして作った風鈴が吊るれが紙コップにシールを貼ったり、板を飾り、天井からは利用者それぞた「サマーフェスタ二〇二五」の看 ジュース、ポップコーン、かき氷ののもいいですね。踊りが終わるとていました。やっぱり盆踊りを踊る す 種類の中から好きな物を選べたので た。ジュースはもちろんたくさんの 自分なりに踊って雰囲気を楽しまれ 踊りを踊られていました。他の方も 自然に体が動くというように流麗な も長年踊り続けた方は曲が流れると された中、行いました。久しぶりで には安芸柏の実苑通所部で制作され ことに。外は暑いので地域交流館 コーナーを出して飲食を楽しみまし ホールで、ミニやぐらを設置し、壁 ンも三種類の味を用意し、その中 が、かき氷は三種類、ポップコー 一日目は久しぶりに盆踊 りを踊 0) る

思いの道具を使ってたくさん取れるはもう一つ、自治会でアイデアを出た。箱の中に入ったお菓子をお箸やお玉、フライ返し、おも子をお箸やお玉、フライ返し、おも子をお箸やお玉、コライ返し、おもかりされる方もいました。一日目に

よう頑張っていました。

が う物を選んで飲食されました。普段「食べたいな」「飲みたいな」と思 と迷いながらも、「おいしそうだな」 ど色々な物があり、どれにしようか 1 てくれていました。 皆さんニコニコ笑顔をたくさん見せ 買い物をしたり、出し物を見て楽し なかなかできないキッチンカーでの ト、焼きそば、アイスにジュースな ルの販売もありました。チョコレー カー三台に来て頂き、さらにワッフ 選会を行いました。今年はキッチン 職員による手品を鑑賞、お楽しみ抽 よるオープニングアクトとクイズ、 二日目は、利用者と職員の有志に できました。 などのスイーツやフライドポテ 抽選に当たって喜んだりと ご家族も参加さ 日を過ごすこと

共に成長できる喜び

今おもうこと

Ŵ

ίij ij

lή

Ŋ

ij

Ιή

ij S

Ιij Ιή

Ιij

ij

ij

Ŵ

Ιij

Ιij

Ιή

Ιή

Ιij

柏学園 Ш 﨑 彩乃

ちと一 ちとの関わり方もそれぞれのお子さんに合わせて、 四月頃と比べると仕事に少しずつ慣れて、子どもた るのではないかと今から楽しみです。まだまだミス 少ししたら寒くなってきて、暑い時期とは異なる活 成長を喜ぶことができて、とても嬉しいです。 とばかりのため、 自分のことよりも嬉しく思い、 ちとは四月からの付き合いですが、去年できなかっ ことができると少し成長したと感じます。子どもた 身の様々な課題が見つかり、その課題をクリアする いかと思っています。 お話ししたり一緒に遊ぶことができてきたのではな も多く学んでいかなければいけませんが、子どもた たいです。 たことなどができている様子を見ると、その成長を らも頑張ります。 が増えるため、 私が柏学園で働き始め、 子どもたちの成長する場面にたくさん立ち会い わからないことや先輩職員のようにできないこ 緒に成長していけたらと思っています。 また保護者の方々と一緒に子どもたちの 今、 子どもたちの新しい成長がみられ 自分にできることを精 毎日過ごしている中で自分自 約八か月が経ちました。 感動します。 今はま 一杯行

言葉の温 か ż

瀬野柏の実苑 清水

年間でした。 利用者の方や先輩方から学ばせて頂くことの多い しておらず、 年が経ちました。 瀬 野柏の実苑で仕事を始めて、 福祉の知識がないまま入職したため 私は今まで、農業関係の勉強し あっという間に

とって、 のを強く覚えています。 だと思うと、とても嬉しく、 たことでした。 る?」「次はいつ出勤かね?」 と聞きに来てくださっ 日退勤しようとした際に、 りました。そう思うようになったきっかけは、 楽しく過ごせる時間を沢山作りたいと思うようにな た。しかし、 ばかりで仕事を覚えることに必死になっていま ンを積み重ねていくうちに利用者の方と共に笑顔 仕事を始めた頃は何をしていいかわからないこと 出勤するのを楽しみにしてもらえているの 利用者の方と日々のコミュニケーショ その言葉を聞いた時、 利用者の方が 温かい気持ちになった 利用者の方に 明日、 ある

かい空間を提供できるように勉強を続けていきたい の方々の意見を正しく受け取り、 ニケーションを取っていきたいです。 利用者の方と笑顔で過ごせるように積極的にコミュ と思います。 これからも、この初心の思いを忘れることなく 安心した生活、 また、 利用者

Ń

Í

S

Ŵ

Ŵ

Ń

Ŵ Ŋ Ŵ Ŵ

Ŵ

Ŵ

Ŵ

Ŵ

Ŵ

Ŋ

行 事

日に開催します。 第三十二 一回ふれあい 祭を十一月 八

擬店など ステージ・ゲー 十時開始・十二時三十分終了です。 ム・ 作品 展 示 模

己協力いただいた関係団体

是非お越しください

宗盛 広島安芸法人会瀬野川支部 幸江様 支部長 水野 修治様

第三十六回広島市心身障害者福 瀬野 柏 の実 苑 法本継美さん が



編集 後 記

した。

始めました。 夏の強い日差しも少しずつ和らぎ

皆さまのご指導、 掲載していきたいと思っ しくお願いいたします。 今後も行事報告等、 ご鞭撻の程、 様々な記事を 、ます。